



光ってきれい☆

岐阜市科学館からいただいたオリジナルの「はなび」が窓際でキラキラと輝いています。それぞれが違う模様や違う色になっているので、見ていることが楽しくなります。子どもたちとスタンドグラスの飾りを作り飾ってみると、見た目の美しさに加え、外から差し込む太陽光で室内の床が色づくことに気付いて、「ここに映っている！」「きれい！」と色に関心をもつ子が多くいました。



スタンドグラスにはなびの飾りを重ねると、さらにきれいに見えることを発見！海や炎のイメージになります。

「ここ見て！」「映っているよ。」太陽光によって、スタンドグラスが床に映ることを発見！



光のおもしろさに気付いた子どもたちは、夏祭りに行った MIS のプラネタリウムを思い出しました。「久しぶりにやってみようよ。」「この飾り持っていったら光るんじゃない？」と言うので持っていったのですが光りません。子どもたちは、「真っ暗なままだ…。」すると、「懐中電灯で照らしたら？」と思いつき、幼稚園にある懐中電灯で照らしてみると、カラフルな模様がプラネタリウム内に映ったのです。「わあ、きれい！」と自分たちでプラネタリウムを作り出したことに感動していました。交代しながら、自分の作った飾りを映すことを楽しんでいました。プラネタリウムだけが映る場所ではなく、子どもたちはいろいろな場所で模様が映ることを探したり、試したりするようになりました。家庭から懐中電灯を持ってきてくれた子もいます。ありがとうございました！



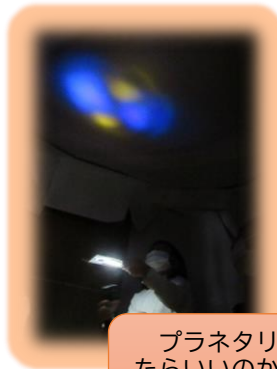
懐中電灯を使ったら、「プラネタリウムになったよ！」自分の模様が映ることを喜んでいました。代わり合って、自分のオリジナルプラネタリウムを作っていました。懐中電灯によっても見え方が変わっていることを発見！



ホワイトボードや段ボールの側面、そして段ボール内の暗い部分など、模様が映る場所を探して試していました。



繰り返し遊ぶうちに、『プラネタリウム内すべてに模様が付くようにしたい』という願いが生まれてきました。確かに一つの光では一部分しか模様が浮かび上がりません。「みんなで一斉にやってみる？」と考え、プラネタリウム内に6人が離れて座り映してみました。すべてを網羅することはできませんでした。どうしたら子どもたちの願いが達成できるのか、子どもたちとの試行錯誤が続いていきます。



プラネタリウム内に模様が付くにはどうしたらいいのか…。予想したり実験したりしています。